

## 待っておられる主

ヨハネの黙示録三章14〜22節

見よ、私は戸口に立って扉を叩いている。もし誰かが、私の声を聞いて扉を開くならば、私は中に入って、その人と共に食事をし、彼もまた私と共に食事をするであろう。(20)

その信仰が「生温い」(16)と叱責されたラオディキアの教会に対して、「私は戸口に立って扉を叩いている」と主は語られました。教会の主であるイエスが、教会から閉め出され、外に立たされているというのです。教会の戸を叩き続けるものの応答がなく、戸の外で待ち続けているのです。主イエスがこの世にお生まれになったクリスマスの夜も、状況は同じでした。「客間には彼らのいる余地がなかった」(ルカ二6)とあるように、人々の心はほかのものに占領されて、主イエスをお迎えする余地がなかったのです。あの夜から二千年が過ぎた今も、キリストは人々の心から閉め出され、戸の外で待たされています。それでもなお、主イエスは諦めることなく私たちの心の戸を叩き続けておられます。主イエスを心の王座にお迎えする本当のクリスマスを味わおうではありませんか。